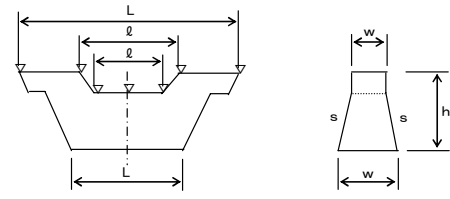
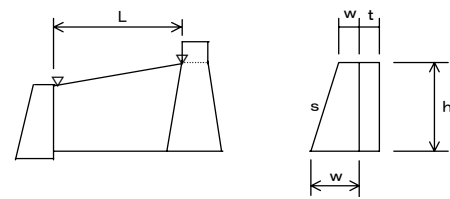
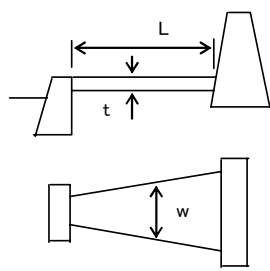
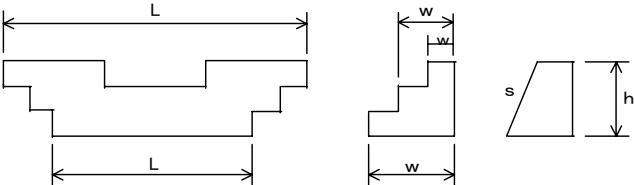
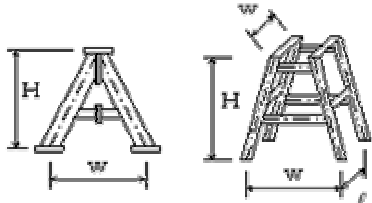
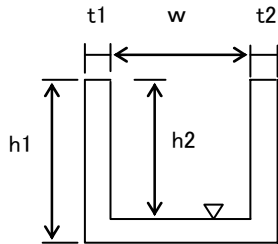
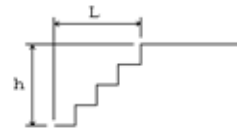
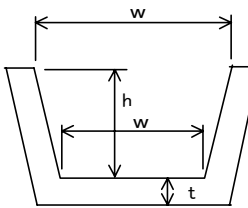
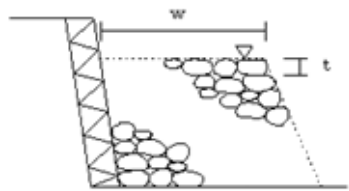
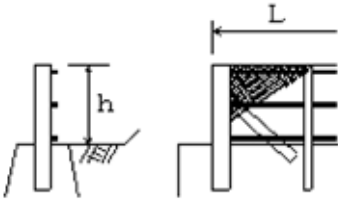
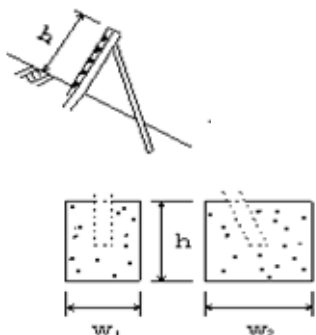


工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
コンクリートダム本体工 コンクリート副ダム工 垂直壁・帯工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$	図面の寸法表示箇所にて測定する。		
	天端幅 堤幅 $w$	-30			
	高さ $h$	-30			
	放水路の幅 $\ell$	$\pm 50$			
	堤長 $L$	-100			
	法勾配 $S$	$\pm 0.2$ 分			
コンクリート 側壁工・袖隠工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$	図面の寸法表示箇所にて測定する。 裏込厚さの高さ方向の測定位置は、裏込の底面及び上面の2箇所とする。		
	高さ $h$	-30			
	幅 $W$	-30			
	長さ $L$	-200			
	法勾配 $S$	$\pm 0.2$ 分			
	裏込厚さ	-50			
水叩工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$	基準高、幅、延長は図面の寸法表示箇所にて測定する。 厚さは目地及びその中間点にて測定。		
	幅 $W$	-100			
	厚さ $t$	-30			
	延長 $L$	-100			

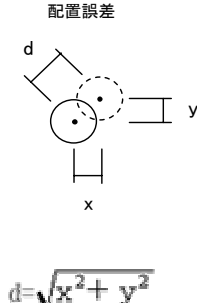
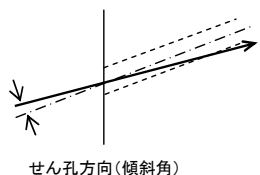
工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
鋼製枠ダム工 (鋼製枠工)	基 準 高 $\nabla$	-50	図面の寸法表示箇所で測定する。		
	長 さ L	-100			
	幅 W	-50			
	法 勾 配 S	$\pm 0.2$ 分			
	高 さ h	-50			
鋼製ダム本体工 (透過型)	堤長 $\ell$ (m) B型	$\pm (10 + \ell/10)$	図面の寸法表示箇所で測定する。	 <p data-bbox="1487 1078 1630 1158">図b 鋼製スリット ダムA型</p> <p data-bbox="1688 1078 1832 1158">図c 鋼製スリット ダムB型</p>	A：鋼製スリットダム A型 図b参照  B：鋼製スリットダム B型 図c参照
	堤幅 w (m) A型	$\pm 5$			
	堤幅 w (m) B型	$\pm (10 + w/10)$			
	高さ H (m) A型	$\pm 5$			
	高さ H (m) B型	$\pm (10 + H/10)$			

工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
現場塗装工(鋼製ダム)	塗 膜 厚	a. ロットの塗膜厚平均値は目標塗膜厚合計値の90%以上。 b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計の70%以上。 c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%を超えない。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。	塗装終了時に測定。 1 ロットの大きさは500㎡とする。 1 ロット当たりの測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。		
魚 道 工	基 準 高 $\nabla$	±30	基準高、延長については図面の寸法表示箇所で測定する。幅、厚さ、高さについては、施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。なお、製品使用の場合は、製品寸法については規格証明書等による。		
	幅 W	-30			
	高 さ h	-30			
	厚 さ t	-20			
	延 長 L	-200			

工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
階段工	幅 W	-30	1回/1施工箇所		現場打ちコンクリートに適用する。
	高さ h	-30			
	長さ L	-30			
	段数	±0段	全箇所について測定する。		
植生土のう筋工 (土のう水路工)	延長 L	-200	全箇所について測定する。		
静砂工	高さ h	±100	1箇所/10本		
	延長 L	-200	全箇所について測定する。		
流路工 (三面張り)	基準高 $\nabla$	±30	基準高、延長については図面の寸法表示箇所にて測定する。幅、厚さ、高さについては、施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		側壁はコンクリートブロック工又はコンクリート擁壁工を適用する。二面張流路工にも準用する。
	幅 W	-30			
	高さ h	-30			
	厚さ t	-20			
	延長 L	-200			
捨石工	基準高 $\nabla$	-100	施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
	幅 W	-100			
	延長 L	-200	全箇所について測定する。		

工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
落石防護柵工	高 さ h	±30	施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
	延 長 L	-200	1 施工箇所毎に測定する。		
落石防止網工	幅 W	-200	図面の寸法表示箇所で測定する。		
	延 長 L	-200			
雪崩予防柵工	高 さ h	±30	1 基毎に測定する。		
	基 準 高 ▽	±50			
	基 礎 幅 W	-30			
	基 礎 高 さ h	-30			

工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
集排水ボーリング工	削 孔 深 さ	設計値以上	全数について測定する。 せん孔方向（水平角）は基準線からの角度を測定する。	<p>配置誤差</p> $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	<p>せん孔方向(水平角)</p> <p>せん孔方向(傾斜角)</p>
	配 置 誤 差 d	100			
	せん孔方向 $\theta$ (傾斜角)	$\pm 2.5$ 度			
	せん孔方向 $\theta$ (水平角)	$\pm 1.0$ 度			
集水井工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 50$	全数について測定する。 偏心量は、上面と底面の差を測定。	<p>偏心量 d</p> $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	<p>w</p> <p>t</p>
	偏 心 量 d	150			
	長 さ L	-100			
	巻立て幅 w	-50			
	巻立て厚さ t	-30			
集排水ボーリング洗淨工	長 さ	設計値以上	全数について測定する。		
鋼管杭工 合成杭工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 50$	全数について測定する。	<p>偏心量 d</p> $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
	偏 心 量 d	D/4 以内 かつ100以内			

工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
抑止アンカー工	削 孔 深 さ	設計値以上	全数について測定する。	<p>配置誤差</p>  <p><math>d = \sqrt{x^2 + y^2}</math></p>	 <p>せん孔方向(傾斜角)</p>
	配 置 誤 差 d	100			
	せん孔方向 $\theta$ (傾斜角)	$\pm 2.5$ 度			
植栽工 (山行苗)	標準地内 植栽本数	-4.0% ただし、標準 地の平均は設 計本数以上	対象面積の区分により、次の箇所数の標準地を設けて測定する。 1ha以下・・・2箇所以上 1haを越え3ha以下・・・3箇所以上 3haを越えるもの・・・4箇所以上 標準地の大きさは100m <sup>2</sup> とする。		
管理歩道工	幅 W	-10%	図面の寸法表示箇所で測定する。ただし、標準断面法による場合は、50mに1箇所以上測定する。		
	法 勾 配 S	-1.0分			
	延 長 L	-0.5%			